

## 施設整備計画 (医学部)

Facilities maintenance  
(Department of Medicine)

### 1) 機能関連上の主な問題

本荘キャンパスが産業道路によって、分断されていることにより、医学部の施設間で、安全性、教育研究の連携において問題が生じている。

機能の集約化や適正なゾーニングを検討し、3地区を有機的かつ安全性・利便性の高い環境を創造していくことが求められている。

### 2) 具体的整備計画

#### 1. 図書講義棟の新営（北地区）

総合研究室や講義施設が北地区の臨床研究棟と中地区の旧基礎研究棟に分散していることや、図書館医学系分館が中地区にあることから、学生、教職員は地区間を横断する産業道路を渡らなければならない環境にある。また、中地区の旧基礎研究棟や講義棟は老朽化が著しく耐震性能も劣っており、このような環境は教育研究活動の支障となっている。

図書施設に於いては、整備率が24%と極端に低く、開架することの出来ない書籍が5万冊に上る深刻な狭隘状況にある。今後、医学系校舎と情報受発信の核となる図書施設の集約化を目的とした図書講義棟の整備を実現し、計画に於いては既存総合研究棟と接続することにより、学生・教員

の利便性を飛躍的に向上させ、教育・研究の活性化及び安全なキャンパス環境を実現する。(図1)

#### 2. 第6病棟・救急棟の整備（北地区）

現在、附属病院の機能強化として、東病棟建設に向けて計画を進めている。東病棟完成後に空きスペースとなる第6病棟と救急棟については、採光、面積確保等、構造上の問題を提起した上で、医学部臨床研究棟と福利厚生施設として有効利用を考慮しつつ、改築整備も含めて検討する。更には、基礎研究棟や総合研究棟の医学部医学科施設群と一体で整備することにより、教育研究活動の効率化を図り、医学部医学科の集約に伴って生じる学生や教職員の北地区集中に対する福利厚生面のサービス向上を図る必要がある。(図2)

#### 3. 基礎研究棟の取り壊し（中地区）

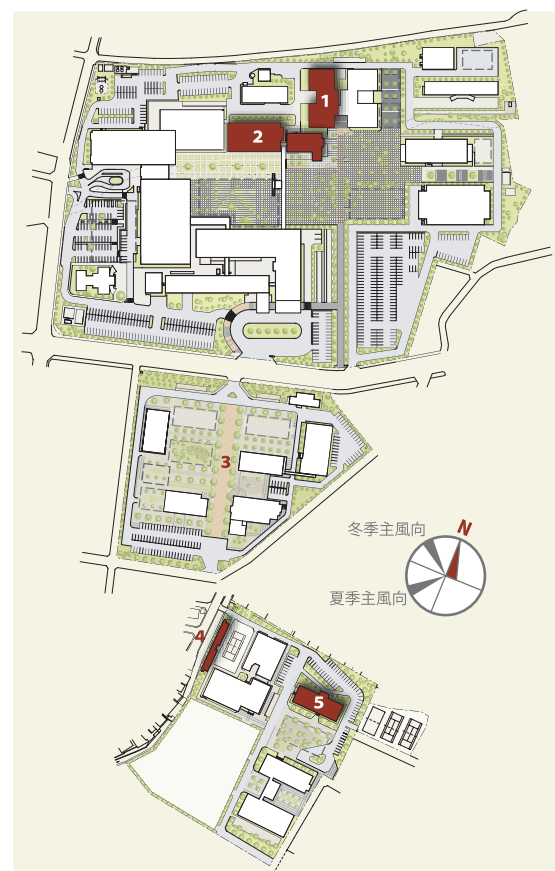
図書講義棟の整備に伴い、中地区の旧基礎研究棟及び講義棟を取り壊す。跡地については今後、日照・採光・通風・防火等の観点からの適切な隣棟間隔と、快適性・安全性や将来の変化に対応し得る拡張性を確保し、中地区全体を学内共同のCOE(センター・オブ・エクセレンスー研究拠点)キャンパスとして整備する。(図3)

#### 4. 課外活動施設の整備（南地区）

中地区と南地区に分散しているサークル室を集約し、南地区の北西の一角に設置することで、体育館や楷樹会館と共に福利厚生ゾーンを整備し、機能を充実させる。これによりキャンパスのゆとりを生み、課外活動の活性化と学生サービスの充実を図る。

#### 5. 保健学科棟の改修（南地区）

医療技術短期大学部は、教育学部特別教科(看護)教員養成課程と統合し、平成15年10月に医学部保健学科(3専攻 入学定員144人)に改組した。現在の保健学科校舎では面積が不足しているが、既存施設の有効利用の観点から旧発生医学研究センターの改修整備を行い、保健学科校舎E棟として利用する。今後は、保健学科校舎ABC棟についても改修整備を行う必要がある。(図4)



■(図1) 図書講義棟のイメージ



■(図2) 第6病棟の整備イメージ



■(図4) 保健学科校舎E棟の改修イメージ



■(図3) COEキャンパスとしての中地区の将来イメージ

### CONTENTS

1. 施設整備の基本方針
  - 1.1 熊本大学の理念・目的・目標
  - 1.2 熊本大学組織図
  - 1.3 大学施設整備の目的・目標
  - 1.4 キャンパス計画のコンセプト
2. キャンパス概要
  - 2.1 キャンパス位置図
  - 2.2 現状施設
  - 2.3 経年別建物配置と現状施設データ
3. キャンパス計画・施設整備の将来構想
  - 3.1 施設整備の将来構想
  - 3.2 キャンパス計画各論
  - 3.3 意匠計画の考え方
  - 3.4 アメニティ空間の整備計画
4. 将来構想に向けた具体的な整備方針と整備計画
  - 4.1 施設整備の方針

## 4.2 施設整備計画

## 施設整備計画 (附属病院)

Facilities maintenance  
(Attached hospital)

### 1) 機能関連上の主な問題

病院組織の拡充に伴い、度重なる増築で機能的には対応してきたが、蛸足的に延びた動線により、患者・医療スタッフの負担増を招き、内部機能を複雑化させている。

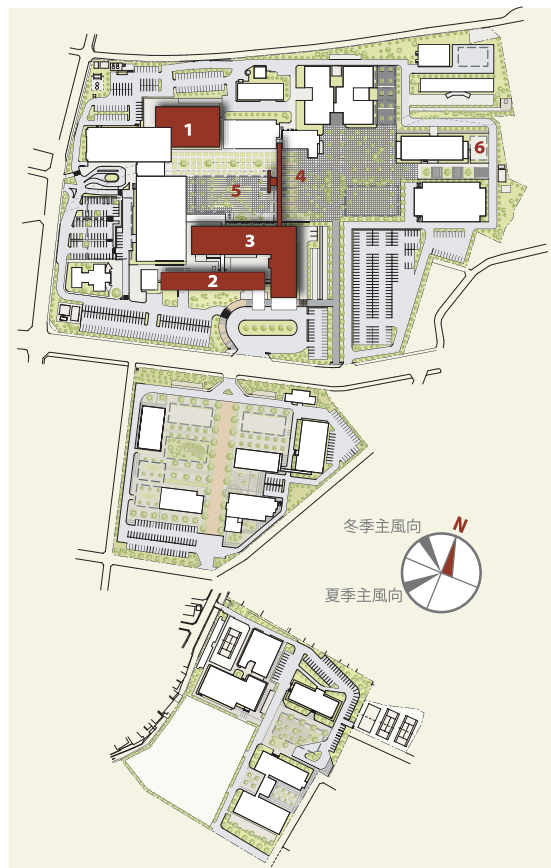
このことは、人動線、物資の搬送動線を非効率にするばかりか、将来の医療の変化に柔軟に対応するための、EXTスペースを確保することができない状況を生みだしている。しかし、現在は長期計画に基づき、病院施設の整備に着手しており、医療の専門化、高度化に対応すべく、設備的な拡充と共に整備が進んでおり、このような問題が解消されつつある。

### 2) 具体的整備計画

#### 1. 東病棟新営（北地区）

現在の第6病棟は昭和46年に建設された建物で、施設機能の陳腐化が進み、患者のアメニティの確保、教育研究スペースの確保、医療の専門化・高度化への対応が困難となっている。

東病棟を整備することにより、これらの問題を一掃するだけでなく、効率的かつ安全な医療の提供が可能となる。(図1)



### 2. 医学部臨床研究棟改修（北地区）

本施設は昭和40年に建設後、昭和42年から61年までの増築により、現在の姿に至っており、経年による老朽化が進んでいる。今後は、病院機能の強化と共用スペースを考慮した計画を行い、老朽解消や耐震改修を行う。(図2)

### 3. 外来臨床研究棟改修（北地区）

本施設は設昭和54年に建設された建物で、経年による老朽化が進んでいる。機能面においても、臓器・系統別診療体制に合わせ施設及び機能を集約化し、高度先進医療への対応を図ることが必要となっている。

今後、再開発整備事業の移行計画に併せ、外来診療施設と管理施設の機能を集約すると共に、老朽解消や耐震改修を行う。(図2)



■(図2) 臨床研究棟・外来臨床研究棟改修イメージ

### 4. 渡り廊下の整備（北地区）

既存中央診療棟や管理棟を取り壊すことにより、現在のループ型院内動線が途切れることになるため、外来臨床研究棟から第6病棟へ渡り廊下を計画する。

再開発事業の移行計画を考慮した整備計画を行うことにより、将来的には病院施設と臨床研究施設を繋ぐ主要動線となる。また、東西に延びる開放空間を、ホスピタルコアとアカデミックコアとに二分するゲートの役目を果たし中庭を思わせる閑静な空間を形成する。(図3)



■(図1) 東病棟のイメージ

### 5. 中庭の整備（北地区）

本荘キャンパスでは、医学部及び医学部附属病院の再開発整備事業が進むにつれて、施設群が大幅に増えたことにより、将来の拡張性と豊かなキャンパス環境を形成することが急務となっている。北地区においては、中央診療棟完成に伴い、未使用となった老朽化の著しい旧中央診療棟等の建物を取り壊し、ホスピタルコアとして中庭を整備する。病院内のどこからでも見えるコミュニケーションの場として気軽に散策でき、屋外展示・催事の場としても利用できる環境を整え、患者アメニティの向上を図る。また、将来における外来診療棟の建て替え用地としても十分な余地を確保する。(図3)

### 6. 保育施設の整備

本施設は昭和49年に建設された建物で、経年による老朽化や、利用ニーズの増加に伴う狭隘化が進んでいる。今後や機能面や建設場所について検討し、改築整備を行う。



■(図3) ホスピタルコアの整備イメージ

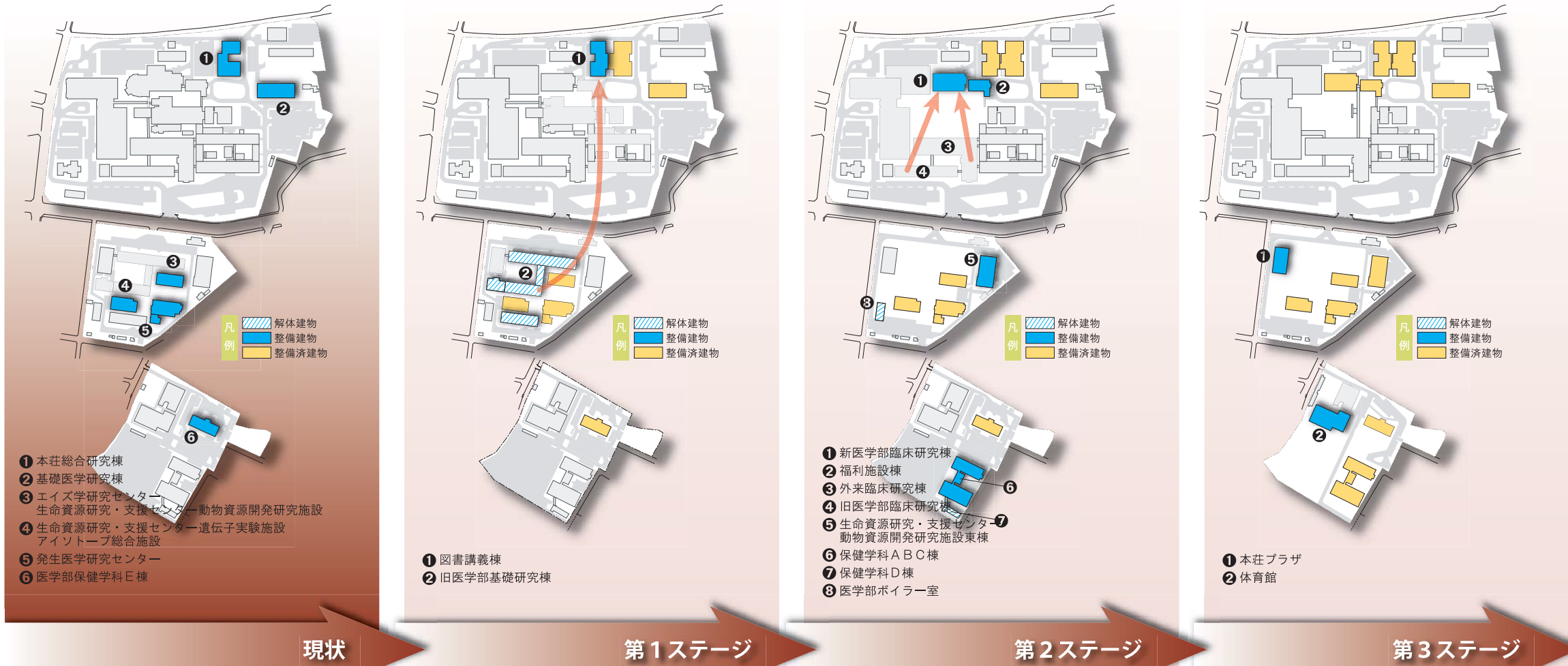
## CONTENTS

1. 施設整備の基本方針
  - 1.1 熊本大学の理念・目的・目標
  - 1.2 熊本大学組織図
  - 1.3 大学施設整備の目的・目標
  - 1.4 キャンパス計画のコンセプト
2. キャンパス概要
  - 2.1 キャンパス位置図
  - 2.2 現状施設
  - 2.3 経年別建物配置と現状施設データ
3. キャンパス計画・施設整備の将来構想
  - 3.1 施設整備の将来構想
  - 3.2 キャンパス計画各論
  - 3.3 意匠計画の考え方
  - 3.4 アメニティ空間の整備計画
4. 将来構想に向けた具体的な整備方針と整備計画
  - 4.1 施設整備の方針

## 4.2 施設整備計画

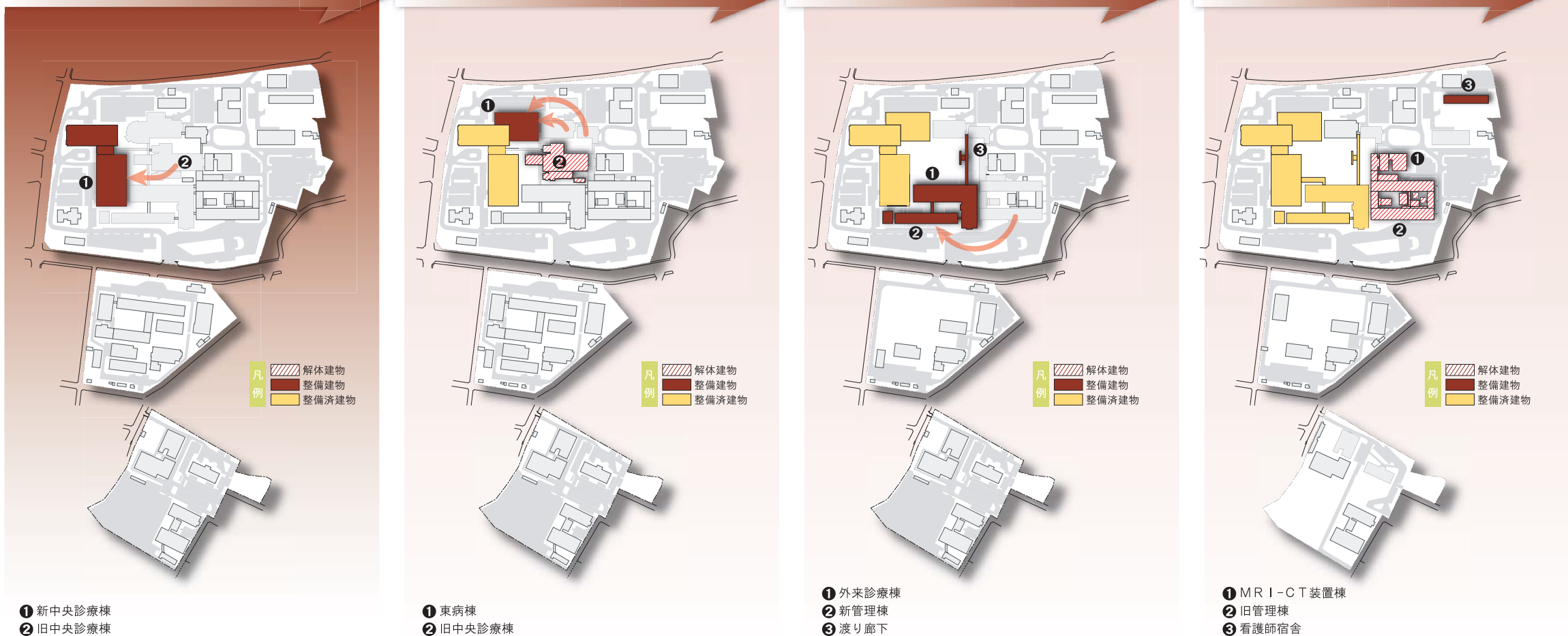
## 施設移行計画 (医学部)

Facilities shift plan  
(Department of Medicine)



## 施設移行計画 (附属病院)

Facilities shift plan  
(attached hospital)



### CONTENTS

1. 施設整備の基本方針
  - 1.1 熊本大学の理念・目的・目標
  - 1.2 熊本大学組織図
  - 1.3 大学施設整備の目的・目標
  - 1.4 キャンパス計画のコンセプト
2. キャンパス概要
  - 2.1 キャンパス位置図
  - 2.2 現状施設
  - 2.3 経年別建物配置と現状施設データ
3. キャンパス計画・施設整備の将来構想
  - 3.1 施設整備の将来構想
  - 3.2 キャンパス計画各論
  - 3.3 意匠計画の考え方
  - 3.4 アメニティ空間の整備計画
4. 将来構想に向けた具体的な整備方針と整備計画
  - 4.1 施設整備の方針

### 4.2 施設整備計画